



⑦阿久原牧 (阿久原地内)

牧とは古代日本において、飼育や繁殖のために馬などを放牧しておく区域のことです。

阿久原牧は平安時代の文献から千年以上も前に存在していたことがうかがえます。牧の推定地は、大字上阿久原および下阿久原地区の神流川から傾斜する台地部分と考えられています。今現在、牧の存在を証明するような遺物は出土していませんが、推定地西側の駒形神社と東側の駒形稲荷には碑が建立されています。



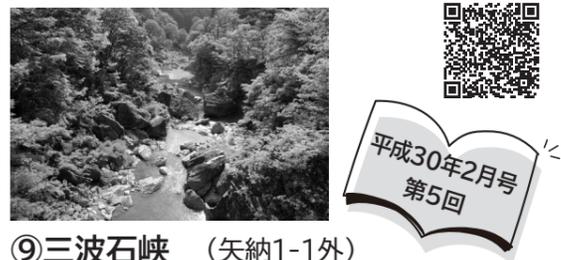
⑧多目的交流施設文化財展示室 (下阿久原1088)

神泉地区の遺跡から出土した縄文土器や弥生土器を展示しているほか、年に2回程度テーマを決め企画展示を行っています。



③日丹線

日丹線はかつて町内を運行していた上武鉄道の通称です。昭和16～61年まで運行された路線です。当初は2駅のみでしたが、最終的には5駅となりました。読者のみなさんの中には、日丹線で神川中学校へ通った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。昭和61年に全線廃止となり、現在は線路の一部区間(植竹～新宿)が健康緑道として整備されています。



⑨三波石峡 (矢納1-1外)

三波石峡は埼玉県と群馬県の境に位置しています。大字矢納の登仙橋から下久保ダム直下までの神流川一帯は「三波石峡」として国の名勝・天然記念物に指定されています。

古くから名勝地として知られていて、独特な風合いの三波石と四季折々に変化する木々がおすすです。



⑩城峯神社 (矢納273)

城峯山の中腹に社殿、頂上に奥宮がまつられている神社です。日本武尊が東征の際に神山(城峯山)に登り、矢を納めて大山祇命をまつたと伝えられています。

注目ポイントは、狛犬がオオカミとなっていることです。



大塚稲荷古墳(新里283)



中新里諏訪山古墳
(中新里99-1ほか)



青柳古墳群十二ヶ谷戸支群
(池田)

④青柳古墳群

青柳古墳群は町内に数多くある古墳の総称です。かつては300基近い古墳が町内に存在していましたが、開発等により現在は80基程となっています。古墳が身近にあり、古墳と共生していることが神川町の魅力と言えます。

見学する場合は、大塚稲荷古墳や中新里諏訪山古墳、小さい古墳が群をなしている青柳古墳群十二ヶ谷戸支群がおすすめです。

※私有地もありますので、見学の際はむやみに畑等に入らないようにしてください。



⑤多宝塔 (二ノ宮736-3)

多宝塔は、金鎖神社境内にある高さ約14mの塔で国の重要文化財に指定されています。塔の心柱に「天文三年八月晦日大旦那安保弾正全隆本願」の墨書があり、天文3年に武蔵七党で名高い丹党の安保全隆が子孫の多幸を願い建てました。建立年代の明確な埼玉県有数の建築であるとともに、安保氏にかかわる建築物として注目されています。



⑥御嶽の鏡岩 (二ノ宮751外)

御嶽の鏡岩は約1億年前の断層活動の摩擦によってできたものです。岩の材質は赤鉄石英片岩で高さ約4m、幅約9m、北向きで約30度の傾斜があります。断層の方向がわかることなどから地質学的に貴重なもので国の特別天然記念物に指定されています。

「かみかわの歴史・発見」は現在も隔月で連載しています。神川町の文化財をたくさんの人に知ってもらいたいという思いで原稿を執筆しています。掲載して欲しい地域の文化財がありましたら、ぜひ文化財担当へご一報ください。これからも「かみかわの歴史・発見」を読んでいただければ幸いです。